

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給業務費交付金		担当部局庁	健康局		作成責任者	B型肝炎訴訟対策室 異 慎一	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	結核感染症課B型肝炎訴訟対策室				
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法第38条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	集団予防接種等の際の注射器の連続使用により、多数の者にB型肝炎ウイルスの感染被害が生じ、かつ、その感染被害が未曾有のものであることに鑑み、特定B型肝炎ウイルス感染者及びその相続人に対し、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等を支給するための措置を講ずることにより、この感染被害の迅速かつ全体的な解決を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法(以下「特措法」という。)に基づき、特定B型肝炎ウイルス感染者等に給付金を支給するための社会保険診療報酬支払基金に造成する基金及び特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係業務の事務の執行に必要な経費に充てるための資金を交付するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			48,045			
		繰越し等						
		計			48,045	34,484	57,200	
	執行額			48,045				
	執行率(%)			100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、特措法に基づき、裁判上の手続きによる和解を経て、社会保険診療報酬支払基金において給付金が支給されるものであり、成果目標及び成果実績になじまない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、特措法に基づき、裁判上の手続きによる和解を経て、社会保険診療報酬支払基金において給付金が支給されるものであり、活動指標及び活動実績になじまない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給業務費交付金	34,484	57,200					
	計	34,484	57,200					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	特措法に基づき、特定B型肝炎ウイルス感染者等に給付金を支給する措置を講ずることにより、感染被害の迅速かつ全体的な解決を図る必要があることから、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、B型肝炎訴訟により、国と原告との間で和解が成立した方に対して、給付金等を支給するものであり、当事者である国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業は、B型肝炎訴訟により、国と原告との間で和解が成立した方に対して、給付金等を支給するものであり、真に必要な経費である。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づき、特定B型肝炎ウイルス感染者等に給付金を支給するための社会保険診療報酬支払基金に造成する基金に充てるための資金を交付するものであり、今後も提訴者数、証拠書類の受理状況等を勘案し必要な経費の確保に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づき、特定B型肝炎ウイルス感染者等に給付金を支給するために必要な経費であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-067

※平成23年度実績を記入

厚生労働省 48,045百万円

特定B型肝炎ウイルス感染者等に給付金を支給するため、
社会保険診療報酬支払基金に対し基金を造成するために
必要な経費を交付

【交付】

A 社会保険診療報酬支払基金
48,045百万円

裁判により和解した方々に対し給付金等を支給するため基金
を造成し支給する。

【随意契約】

B 民間会社 6社 75百万円

裁判により和解した方々に対し給付金を支給するための体
制整備を行う

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 社会保険診療報酬支払基金			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給付金	基金の造成等	47,791			
職員諸給与	職員の給与等	38			
管理諸費	使用料及び賃借料等	141			
委託費	コールセンター設置経費等	75			
計		48,045	計		0
B. (株)エヌ・ティ・ティエムイー			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	コールセンター配置要員の人件費	31			
管理諸費	システム運用保守等	13			
計		44	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	裁判により和解した方々に対し給付金等を支給するため基金を造成し支給する。	48045		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティエムイー	給付金等支給相談窓口設備構築及び運用の委託	44	随意契約	
2	(株)みずほ情報総研	給付金等支給事務追加に伴う請求支払システムの改修	26	随意契約	
3	(株)日立製作所	特定B型肝炎特別会計の追加に伴う会計システムの改修・運用	4	随意契約	
4	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	事務所レイアウト変更に係るLAN配線工事	0.5	随意契約	
5	(株)日立公共システムエンジニアリング	支払基金ホームページの改修	0.3	随意契約	
6	(株)リコージャパン	事務機器の保守	0.3	随意契約	
7					
8					
9					
10					